

2022年(令和4年)11月27日 日曜日

成績上位者を表彰

大分学検定

大分に関する知識を問う「第10回しんけん大分学検定」(大分学研究会、大分

合同新聞社主催)の表彰式が26日、大分市府内町の大分合同新聞社であった。

研究会の榎本譲司代表理事兼事務局長が「オンラインでも実施したため、県外からの参加者が18人と過去最多だった。受検者の平均年齢は38歳と若く、多くの方が良い成績だった」と講評した。

今回から「マスターコース」と「入門コース」が設けられ、各コースで成績上位だった14人と1団体を表彰した。

マスターで120点満点中、最高点の116点を取った阿南貴詞さん(36)は豊後大野市千歳町新殿は「大分を知る良いきっかけになっている。地域の盛り上げにつなげたい」と話した。

研究会の例会もあり、中高大生が「私たちの大分を推し」ロゴ」とのテーマで地域の自慢を紹介。シェアリングエコノミー協会代表理事の石山アンジュさんの提言発表もあった。

(菅嶋悠)



表彰された成績上位者ら